

○国際交流・社会貢献等の概要

●協定校

学校法人群英学園育英メディカル専門学校

本学のスポーツマネジメント学科にける資格取得やスポーツ関連企業等への就職を促進するために、関連教育を実践しているメディカル専門学校との協定を締結し、以下のように学生に便宜を図っている。

本学在学中の学生で「特別聴講生」として認められたものは、育英メディカル専門学校の授業を受け、単位を修得することができる。また大学在学中には授業料や入学金などの免除・減免措置を受けることができる。

●大学間連携

「単位互換に関する包括協定」の締結

群馬県内の7大学 群馬大学、群馬県立女子大学、関東学園大学、上武大学、東洋大学、共愛学園前橋国際大学、放送大学で単位互換に関する包括協定を取り交わしている。

これらの大学間のいずれかに在籍する者で「特別聴講学生」として受け入れを認められた者は、この協定により他大学の授業科目を履修し、単位を修得することができる。

●産学官連携

○群馬ダイヤモンドペガサスとのスポーツマネジメントにおける以下に掲げる項目等に関する産学連携

1. スポーツマネジメントの研究と実践（スポーツビジネスにおけるマネジメント調査・研究）
2. 地域活性化策の共同研究と実践（地元商店街とのタイアップ事業構築）
3. ボランティア運営の研究と実践（開催ホームゲームにおけるボランティア組織作りと実践）
4. その他、地域貢献における研究

○伊勢崎市教育委員会との伊勢崎市立学校の教育活動への支援に関する連携

将来の社会を担う国際的視野に立った立派な人材を育成するために、本学と伊勢崎市教育委員会で相互連携・協力を行うもの。本学からは、伊勢崎市立学校のカリキュラムパートナーとして、従来までに培った教育資源を活用し、伊勢崎私立学校の教育活動の円滑な推進に対して可能な範囲で支援を行

っていく。また伊勢崎市教育委員会では、本学で必要とする教育情報の収集や研究・研修の場として、可能な範囲で提供を行っていく。

○中小企業金融公庫前橋支店との相互協力協定

本学における研究成果等を地域社会にいつそう円滑に還元すること及び緊密な情報交換を行うことにより、地域の産学連携を推進し、もって地域中小企業及び地域社旗の発展に貢献することを目的として協定を締結した。

具体的には、①本学における研究成果等のシーズと地域中小企業の経営相談ニーズのマッチングのコーディネートを行っていく。②中小企業金融公庫前橋支店の取引先からの経営相談に関する支援、③地域中小企業の経営相談の情報収集及びそれに対する情報提供などの事項に取り組んでいく。

○群馬県が主導する「ぐんま地域・大学連携協議会」へ参画し、行政（市町村等）が問題提起するモデル事業に共同して取り組んでいる。これは地域と大学との連携・協働を促進し、大学等の知的資源を地域課題の解決に活用する仕組みを構築するためのものである。

・ 21年度採択モデル事業

太田市より事業所の子育て支援策と労働環境の整備に係る自治体の役割」

・ 22年度採択モデル事業

伊勢崎市より「ものづくり企業の販路拡大のためのインターネット活用策の研究」

●社会貢献

○公開講座

平成 22 年度実施

・暮らしに役立つ医療の知識Ⅰ

代替医療について 1/20・27

医療機関の上手なかかり方 2/3・9

・暮らしに役立つ医療の知識Ⅱ

介護のはなし 1/12・26

大切な人の命救えますか 3/9

・教養と文化講座Ⅰ

川の街・新町―地図と写真で読み解く土地の変遷― 2/16・23・3/2

・教養と文化講座Ⅱ

初心者でもよくわかるパソコン入門 2/17・24 3/3・10

・教養と文化講座Ⅲ

古代国家のプランナー(計画者)たち 3/9・16・23・30

・資格支援講座

3級簿記検定 1/19・21・26・28・31 2/4・7・14・21

平成23年度実施

・暮らしに役立つ医療の知識Ⅰ

大切な人の命救えますかーとっさの時の救急蘇生法ー 10/31

・暮らしに役立つ医療の知識Ⅱ

頑張らない介護を目指して 11/10・17・24

・教養と文化講座Ⅰ

地震と津波 9/28 10/12・26 11/9

・教養と文化講座Ⅱ

初心者からはじめるワープロとはがき作成入門 10/18・25 11/1・8

・教養と文化講座Ⅲ

ドラッカーの視点で見る日本社会 10/19・26 11/2

・スポーツ講座

速く走るためには！ 11/20・27

- ・平成22年10月11日、高崎キャンパス三俣記念館ホールにて客員教授で日本絵手紙協会会長でもある小池邦夫よる公開講座「絵手紙のすすめ」を開催。

○絵手紙を通じた被災地応援

公開講座でも実施した絵手紙について、授業の指導者である理事長が本学の学生らに呼びかけ、東日本大震災で被災した地域の学校へ、絵手紙で応援メッセージ送ることを提案。早速学生らに加え教職員も一部参加して、およそ120名が描いた絵手紙を、理事長自ら石巻市、気仙沼市の教育委員会へ直接届けている。

○さまざまな機関や団体、行政などからの要望に応じて、本学教育職員を送り、社会貢献の役割を担っている。

・学長

公財政改革委員会委員、学基準協会運営諮問会議委員、高崎市公立大学法人評価委員会委員、高崎総合医療センター臨床倫理委員会委員など

・副学長

厚生労働省第3次対がん総合戦略研究事業中間・事後評価委員、厚生労働省厚生科学審議会専門委員、財団法人がん研究振興財団評議員選定委

員会委員、公益財団法人武田科学振興財団理事など

・その他

私立大学等研究設備整備費等補助金等に係る選定委員会委員

伊勢崎市廃棄物減量等推進審議会委員など

○群馬産学官連携推進会議への参画

群馬大学、前橋工科大学、前橋商工会議所が主催する地域連携・産学官連携のための同会議に参画しており、知的財産と産業の融合及び産業界活性化を更に推進するために、共同で取り組んでいる。